

# 農業用水情報



岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン (貯水率100%)

農業用水取水量 2,700万トン (取水率 64%) (ともに8月9日現在)

今年も7月下旬から今月上旬にかけて35度を超える猛暑日が続く、福井県小浜市では39.1度を記録するなど猛烈な暑さとなり、夜になっても気温は下がらず連日熱帯夜となりました。利水者の皆様には、早期米の収穫を控え農作業に多忙な日々をお過ごしのことと思いますが、くれぐれも日中の作業は避けて頂き、室内でもこまめに水分補給をして、体調の管理に努めて頂きたいと思っております。

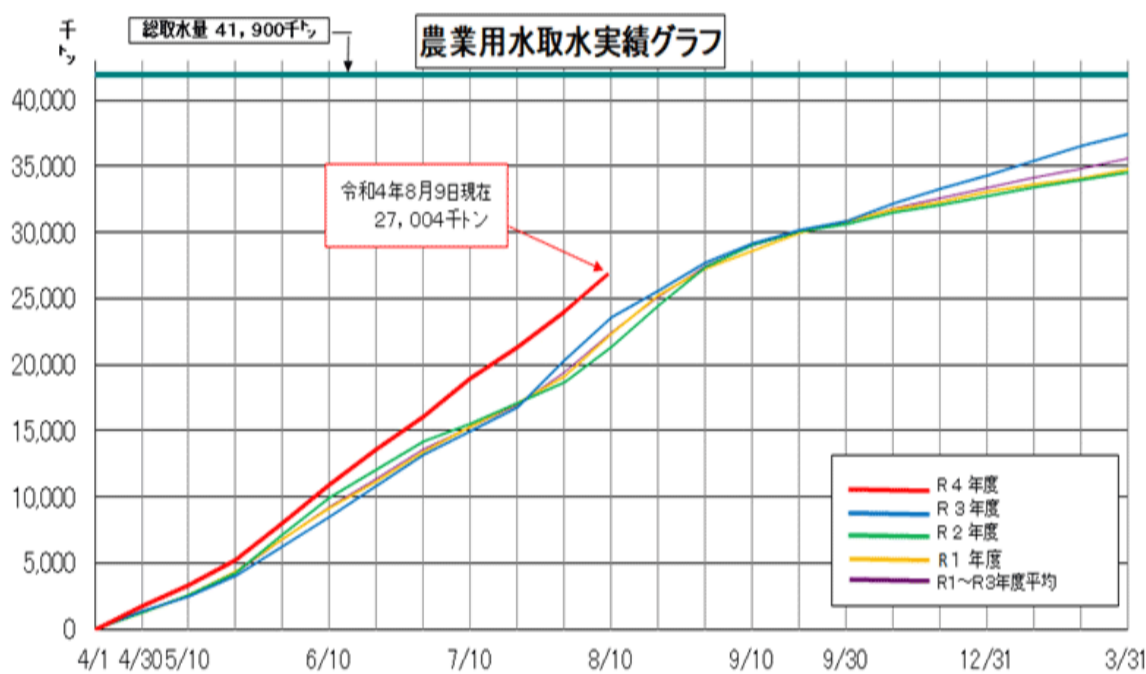
例年、この時期になりますと、全国各地で大雨による被害が頻繁に発生します。先月末には長野県、山梨県、群馬県、埼玉県などに、記録的短時間大雨情報が発表されるなど、局地的に1時間に100ミリほどの激しい雨となりました。こうした状況は猛暑日が続いた地域で発生しているように思われます。話題は変わりますが、コロナの関係で中止になっていた花火大会が、今月の6日に美濃加茂市（おん祭美濃加茂）で7日に八百津町（蘇水挾川まつり）でそれぞれ開催され、久しぶりの夜の祭典を楽しまれたのではないのでしょうか。

水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、8月9日現在で6,190万トンと満水状態を保っています。東海地方の8月の天候の見通しは、平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年より高くなる見込みとのことです。この時期は普通植えの出穂期

を迎え多くの水を使う時期でもありますので、今後の降雨状況や貯水状況に注視していくことが必要です。

農業用水取水量は8月9日現在、2,700万トン（取水率64%）で、過去3ケ年の平均取水量より422万トン多くなっています。一方、右岸用水における農水の年間総取水量は4,190万トンと定められています。

本年度の水稲用水使用期間もあとわずかになりましたが、受益者の皆様には、引き続き河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用していただくと共に、掛け流しはしないよう節水にご協力をお願いします。



## 山之上小学校で『環境水路の生きもの調査』に協力！



7月7日、美濃加茂市の山之上小学校付近の環境水路（農業用排水路）で同校4年生18人を対象に生きもの調査が行われました。この取り組みは、水路で生息する生き物の観察を通して、美しい川を守っていかうとする気持ちを育てるもので、今年度は猛暑が続いている関係で、先に水路で生物を採取することになりました。その後に教室に戻り、環境水路の目的や農業用水の役割と川の水質について説明を受けた後、講師の安藤先生の指導を受けながら、捕獲した生きものの形などを見ながら名前を調べた結果、排水路には、カワヨシノボリ、カワニナ、ヤゴ、マシジミなど多くの生き物が生息していることが分かりました。

## ◇東海地方向こう3か月の天候の見通し (令和4年7月19日 名古屋地方気象台発表)

8月・・・天気は平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年より高い見込みで、降水量は平年並またはやや多い見込みです。

9月・・・天気は数日の周期で変わり、気温は平年より高い見込みで、降水量は平年並またはやや多い見込みです。

10月・・・天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い見込みで、降水量は平年よりやや多い見込みです。